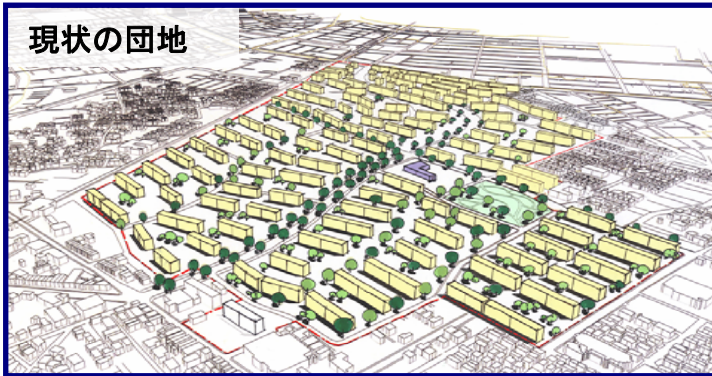


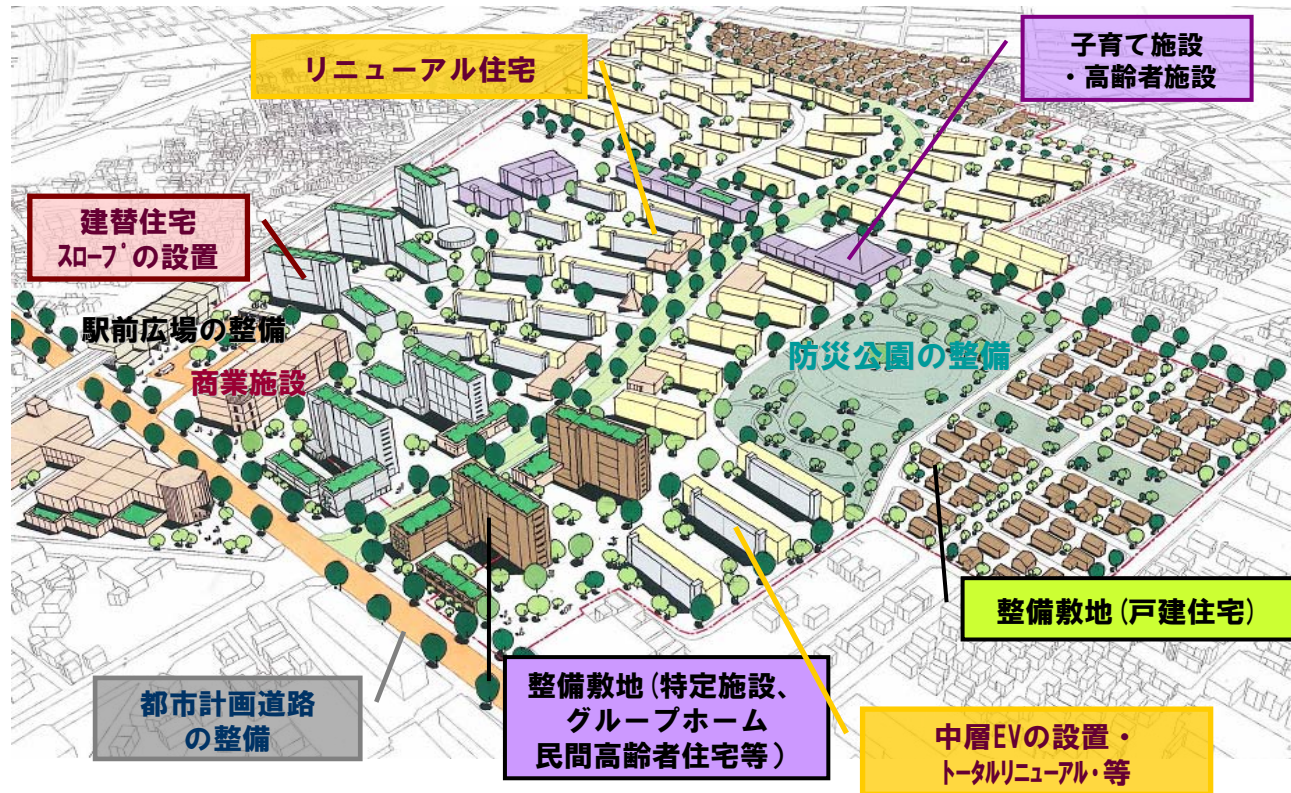
# UR都市機構の安心住空間創出プロジェクトへの取り組み

URの賃貸住宅ストックは、全国で約77万戸ありますが、このうち昭和30年代から50年代前半の古い団地が約51万戸と多数を占めています。また、居住者の高齢化や低所得化が急速に進んでおり、住宅セーフティネットの役割が期待されています。

一方、将来の人口・世帯数が減少するとの推計があり、郊外の古い大規模団地のなかには、間取り、設備水準の老朽化・陳腐化し、バリアフリー化もされていないだけでなく、交通条件の悪いものも多くみられます。このため、URでは、平成19年12月に、UR賃貸住宅ストック再生・再編方針（建替え、改善、集約（規模縮小）など）を公表し、高齢者や子育て世帯への供給の重点化とともに団地の再編に取り組むことを打ち出したところです。（URL <http://www.ur-net.go.jp/stock/>）



団地再生の実施  
(イメージ)



## 地域の福祉拠点として再生します。

団地の再編により生じた敷地や、既存の団地内の施設に、医療、福祉、子育て支援施設等を誘致します。（団地内施設の賃料については、5割まで減額）

団地内の空き店舗をデイサービス施設として活用  
（上尾団地・埼玉県）



## 住宅のバリアフリー化を進めます。

団地の再編（建替えや改善）を通じて、住宅のバリアフリー化を進めます。さらに、一部の住宅は介護のしやすさにも配慮した「在宅長寿対応住戸」にします。



改善後



## 安心住空間情報ネットワークに参加してください。

地方公共団体、福祉・医療関係の事業者の皆様と、今後予定している団地内の敷地の譲渡・賃貸、施設の賃貸に関し、情報提供・意見交換を行うため「安心住空間情報ネットワーク（仮称）」を20年度に設立します。詳細は、3月中旬にホームページに掲載予定。

◇本社 業務第二部  
居住整備支援チーム TEL 045-650-0520

## 本プロジェクトに関するUR都市機構への問い合わせはこちらまでお願いします。

- ◆ 東日本支社 住まいサポート業務部  
ストック活用計画チーム TEL 03-5323-2591  
担当地区：北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、東京、新潟、山梨、長野
- ◆ 千葉地域支社 住まいサポート業務部  
ストック活用計画チーム TEL 043-296-7387
- ◆ 神奈川地域支社 住まいサポート業務部  
ストック活用計画チーム TEL 045-682-1886
- ◆ 埼玉地域支社 住まいサポート業務部  
ストック活用計画チーム TEL 048-844-2320
- ◆ 中部支社 住まいサポート業務部  
ストック活用計画チーム TEL 052-968-3169  
担当地区：富山、石川、岐阜、静岡、愛知、三重
- ◆ 西日本支社 住まいサポート業務部  
ストック改善事業チーム TEL 06-6969-9032  
担当地区：福井、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、鳥取、島根、岡山、広島、徳島、香川、愛媛、高知
- ◆ 九州支社 住まいサポート業務部  
ストック活用計画チーム TEL 092-722-1132  
担当地区：山口、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄
- ◇ 本社 住宅経営部  
ストック再生事業チーム TEL 045-650-0575